

## 南に山を背負う日本海側の地理風水について

### — 「龍生旺死絶形状」を例に—

About the geography divination for selecting an ideal place on the side of the Sea of Japan that shoulders the mountain to the south  
To the example on "the shape of dragon's birth flourishing death and end of life "

正会員 深澤大輔  
Daisuke FUKAZAWA

日本海側の北陸のように南に山が連なり、北に平野が広がり、川が流れる形状は、「地理五訣」の論龍生旺死絶形状によると、火局の生龍入首図または金局の臨官入首図に当たる。これらは、龍が生まれ、20~30年間は栄え、失敗することが無い場所と言える。

Keywords ; Geography divination for selecting an ideal place, Dragon , Mountain , River , Development  
地理風水, 龍, 山, 川, 発展

#### はじめに

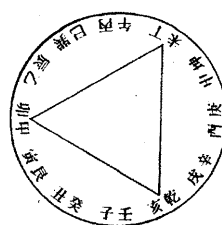
我が国における「風水図」<sup>1)</sup>は、太平洋側の地形を対象に、北に山があり、その南側に平野が広がり、その先に川が流れている場所が理想的としてきた。しかしながら、日本海側では南に山が聳え、北に向かって平野が広がり、川が流れる地形が一般的である。風水思想では、そのような日本海側、特に北陸地方はどのような場所と見られて来たのか、疑問に思っていた<sup>2)</sup>が、韓国では、そのような捉え方でなく、山の位置と川の流れる関係を火気と水気と金気と木気の4つに分類し、それぞれ6つのパターンを示す中で、龍の生旺死絶の形状<sup>3)</sup>として説明している。従って、本報では、南に山を背負っている地域のその運気は一体どのように考えられるのか、申秤氏が「地理五訣」の中で龍生旺死絶について述べている内容を紹介する中で考察して見たい。

#### 1. 龍生旺死絶形状

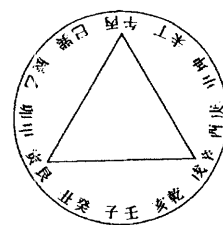
##### (1) 三合五行

詳細は省略するが大凡下記のことを示している。

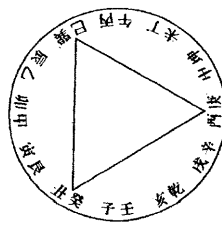
- ・ 東向きの三合(左上)⇒木気の三合⇒春
- ・ 西向きの三合(左下)⇒金気の三合⇒秋
- ・ 南向きの三合(右上)⇒火気の三合⇒夏
- ・ 北向きの三合(右下)⇒水気の三合⇒冬



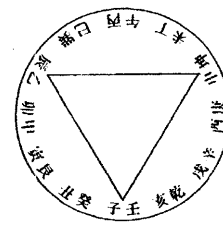
乾甲丁亥卯未 貪狼星木局圖



艮丙辛寅午戌 廉貞星火局圖



巽庚癸巳酉丑 武曲星金局圖



坤壬乙申子辰 文曲星水局圖

図1 三合五行図 東西南北⇔木金火水

\* 新潟工科大学・教授・工博

【6-7】

【火局龍の生旺死絶】

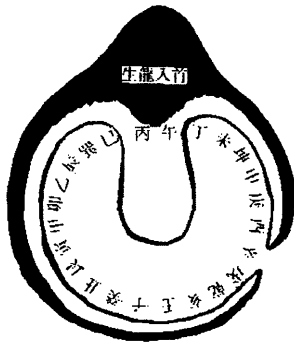


図2 火局生龍入首図

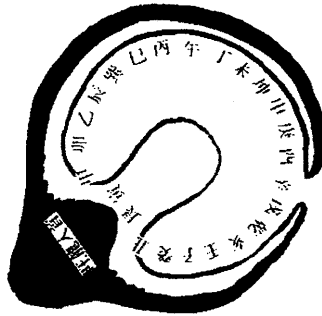


図3 火局旺龍入首図

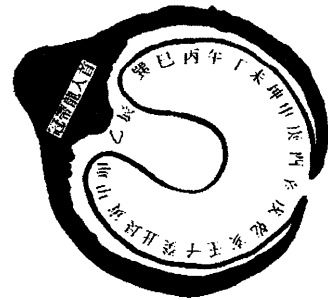


図4 火局冠帶龍入首図



図5 火局病龍入首図

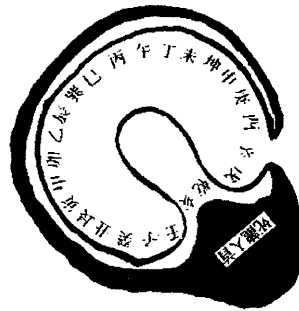


図6 火局死龍入首図

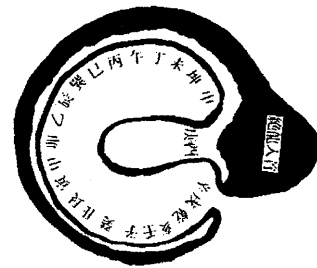


図7 火局絶龍入首図

【水局龍の生旺死絶】



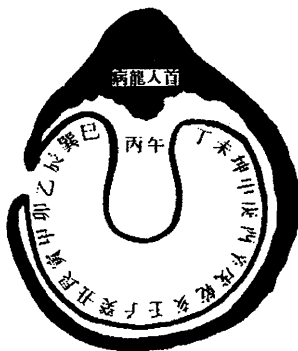
図8 水局生龍入首図



図9 水局旺龍入首図



図10 水局冠帶龍入首図



図表 11 水局病龍入首図

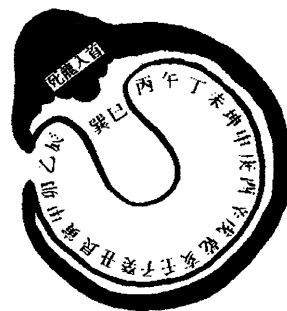


図12 水局死龍入首図

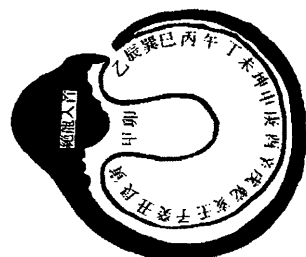


図13 水局絶龍入首図

【6-7】

【金局龍の生旺死絶】

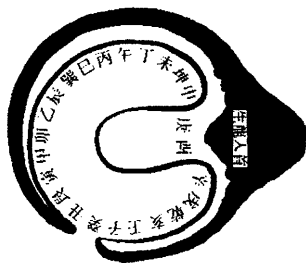


图 14 金局生龍入首図



图 15 金局旺龍入首図

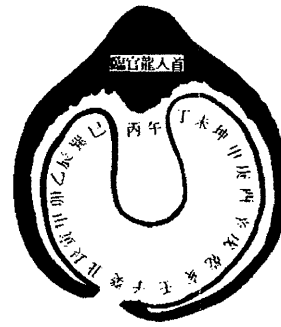


图 16 金局臨官龍入首図

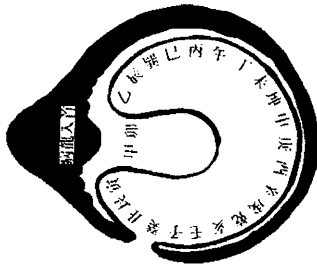


图 17 金局病龍入首図

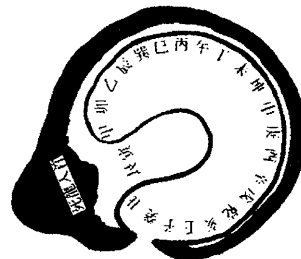


图 18 金局死龍入首図

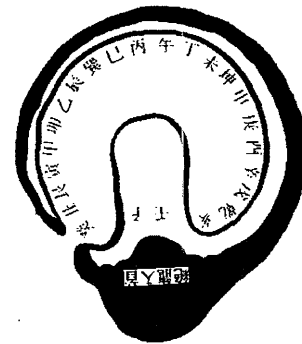


图 19 金局絶龍入首図

【木局龍の生旺死絶】

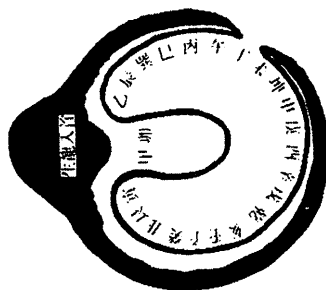


图 20 木局生龍入首図



图 21 木局旺龍入首図



图 22 木局冠帶龍入首図

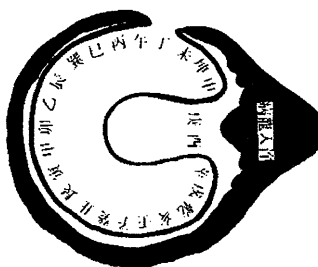


图 23 木局病龍入首図

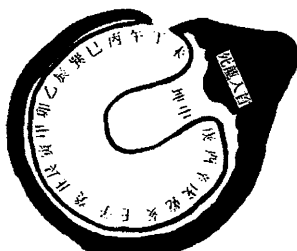


图 24 木局死龍入首図

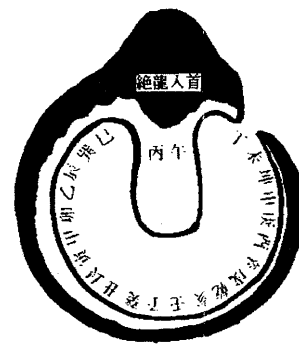


图 25 木局絶龍入首図

## (2) 龍生旺死絶形状

**【火局龍の生旺死絶】**南方・夏⇒西方に川が流れる  
**図 2～4**：火局である。生、旺、冠帶龍入首が龍と水口が通じ向法が合うと大地は大発し小地は小発するが不発はない。立向法につまずきがあれば二三十年間のみ発福して三十年後には外堂水運になって敗絶することになる。龍は陰に属するので陽の水には勝つことは出来ない。

**図 5～7**：火局の病、死、絶龍の入首図である。龍の形象がたとえ良いとしても不発する。入首が生旺の氣を得ることが出来ないからだ。立向法にまたつまずきがあれば一軒も残らずに不発し凶になる。龍がもう死絶したうえに向きまで悪ければ凶上加凶なので不発する。

**【水局龍の生旺死絶】**北方・冬⇒東方に川が流れる  
**図 8～10**：これが水局の生、旺、冠帶龍入首で龍と水口が通じて向法だけ合法すれば大地は大発し小地は小発する。向法につまずきがあれば二三十年間は発福しても三十年が過ぎると外堂の水運に該当するので敗絶する。

**図 11～13**：水局の病、死、絶龍の入首で龍がたとえ良くても不発になるのは生旺の氣を得ることが出来なかったからだ。もし立向法につまずきがあれば一軒も残らずに不発し凶になる。これは龍がもう死絶した上に向法も良くなければ凶上加凶で不発になる

**【金局龍の生旺死絶】**西方・秋⇒北方に川が流れる  
**図 14～16**：これが金局の生、旺、臨官龍の入首だ。龍が水口と通じていて向法さえ合法すれば大地は大発して小地は小発し、断定して不発することはない。向法につまずきがあれば二三十年間は発福しても三十年が過ぎると外堂の水運に行くので敗絶する

**図 17～19**：これが金局の病、死、絶龍入首で龍がたとえ形象が良いとしても不発する。龍が生旺の氣を得ることが出来なかったからだ。立向法でまたつまずきがあれば一軒も残らずに不発して凶になる。龍が死絶したうえに向きも不合なら凶上加凶になる。

**【木局龍の生旺死絶】**東方・春⇒南方に川が流れる  
**図 20～22**：木局の生、旺、冠帶龍入首図である。龍が水口と通じて向法が合法すれば大地は大発して小地は小発する。断然して不発することはない。向法に少しでもつまずきがあれば二三十年間は発福して

も三十年が過ぎると外堂の水運は変って行き敗絶する。龍は陰で陽の水に勝つことができない道理だ。  
**図 23～25**：木局の病、死、絶龍入首図である。龍がたとえ形象が良いとしても不発する。龍が生旺の氣を得ることが出来なかったからだ。立向法でまたつまずきがあれば一軒も残らずに不発して凶になる。龍が死絶したうえに向きも不合なら凶上加凶になる。

## 3. まとめと考察

2で示した24の図は、龍の生・旺・死・絶の形状を示したものとされているが、この木(卯)は東方で春、火(午)は南方で夏、金(酉)は西方で秋、水(子)は北方で冬を示し、「川」(平野が開け、水が流れる方向)は、それぞれ南方・西方・北方・東方に流れる。つまり、季節の運行を右回りとし、右に旋回する形とされている。これに対し、それぞれに6つ描かれる「山」(龍頭・龍脈)は、生・旺・暮の順に左に旋回する形とされている。

また、「山」(龍頭)の位置は、北とは限らず全方位について示し、龍脈が前方に長く伸び広がっている形状を良いとし、脇や後ろに戻り短く狭い形状を悪い(良くない)としている。

従って、図2の火局の生龍入首図や図16の金局の臨官入首図は、日本海側の北陸のように南に山が連なり、北に平野が広がり、川が流れる形状を示している。これらの場所では、龍が生まれ、20～30年間は栄え、富貴に満ち、失敗することが無いと見られていたものと推察される。

## おわりに

申秤氏の「地理五訣」は、図が多く、一部漢字のタイトルが入っているが、ハングルで書かれているため、八十八向法九十六向論の内、第二章 論龍生旺死絶形状の翻訳を若月順美江氏にお願いし、読んでみた。その結果は、大変難解で、臆気にしか理解出来なかった。解釈に浅学が多く見られると思うが、諸兄のご鞭撻を期待したい。

## 参考文献

- 1) 中生勝美：風水のコスモロジー、風水とデザイン、住空間の冒険④、1992、INAX.
- 2) 深澤大輔：「地理風水」の我が国への適用－日本海側の場合－、日本建築学会大会(九州)、農村計画研究協議会資料、2007.
- 3) 申 秤：地理五訣 八十八向法九十六向論、1987、東洋思想社.